近畿アグリレター Vol. 408 発行 農林水産省近畿農政局 2022. 2. 25

・近畿農政局ホームページ https://www.maff.go.jp/kinki/

- ・近畿農政局フォトレポート http://www.maff.go.jp/kinki/photo/index.html
- 広報紙新鮮mini情報 http://www.maff.go.jp/kinki/pr/magazine/mini/index.html
- ・農林水産省フェイスブック https://www.facebook.com/maffjapan ・農林水産省広報誌 a f f https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/index.html

## ◆目次◆

- 1. 農政の動き
- ◆つなぐ棚田遺産~ふるさとの誇りを未来へ~の選定について ◆令和2年の農作業死亡事故について
- ◆令和3年産米の相対取引価格・数量について(令和4年1月)
- 2. お知らせ
- <表彰>
- ◆「サステナアワード2021」農林水産大臣賞、環境大臣賞、消費者庁長官賞など各賞を決定しました <募集・案内>
- ◆令和 4 年度農山漁村振興交付金(地域活性化対策、農泊推進対策、農福連携対策及び都市農業機能発揮
- 3. フォトレポート
- ◆近畿農政局管内で頑張る生産者・事業者の方々などをホームページで写真により紹介しています
- きんき食と農デジタルミュージアム
- ◆近畿農政局管内の食と農の魅力を動画で発信するサイトです
- 5. 統計情報
- ◆2020年農林業センサスミニ分析の第2回を掲載しました

#### 1. 農政の動き

◆つなぐ棚田遺産~ふるさとの誇りを未来へ~の選定について

棚田地域の振興に関する取組を積極的に評価し、棚田地域の活性化や棚田の有する多面的な機能に対するより一層のご理解とご協力をいただくことを目的として、改めて優良な棚田を認定する取組(「つなぐ棚田遺産~ふるさとの誇りを未来へ~(ポスト棚田百選)」)を実施しています。 令和4年2月14日(月曜日)に開催した外部有識者から構成されるつなぐ棚田遺産選定委員会(第2回)において、全国から推薦いただいた271の棚田が「つなぐ棚田遺産~ふるさとの誇りを未来へ~」として選定さ れました。

近畿からは、33 (滋賀県7・京都府4・大阪府5・兵庫県7・奈良県2・和歌山県8) の棚田が選出されまし

詳しくはこちら (農林水産省ホームページ) https://www.maff.go.jp/j/nousin/tanada/sentei.html

### ◆令和2年の農作業死亡事故について

農林水産省は、令和2年に発生した農作業死亡事故について取りまとめました。 令和2年の農作業事故死亡者数は270人となり、前年より11人減少しました。 事故区分別では農業機械作業によるものが186人(68.9%)、農業用施設作業によるものが8人(3.0%)、機械・施設以外の作業によるものが76人(28.1%)となっています。 また、年齢階層別では、65歳以上の高齢者による事故が229人と死亡事故全体の84.8%を占めています。 近畿では、兵庫県で8名の死亡が確認されています。

詳しくはこちら (農林水産省ホームページ)

https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/sizai/220215.html

◆令和3年産米の相対取引価格・数量について(令和4年1月)

令和4年1月の令和3年産米の相対取引価格は、全銘柄平均価格で12,884円/玄米60kg(対前月比99%)、相 対取引数量は、全銘柄合計で23万トン(対前月比135%)となっています。

産地銘柄別の相対取引価格・数量など詳しくはこちら(農林水産省ホームページ)

#### 2. お知らせ

く表彰>

◆「サステナアワード2021」農林水産大臣賞、環境大臣賞、消費者庁長官賞など各賞を決定 ~日本の食と農林水産業のサステナブルな取組を国内外に発信します~

サステナアワード2021では、SDGsゴール12「つくる責任 つかう責任」を踏まえ、食や農林水産業に関わる持続可能なサービス・商品を扱う地域・生産者・事業者の取組を広く国内外に発信していくことを目的として、サステナブルな取組を分かりやすく紹介する動画を昨年募集しました。 募集の結果、92作品のご応募をいただき、有識者による審査を経て決定した農林水産大臣賞、環境大臣賞、消費者庁長官賞をはじめとする各賞について、2月14日の表彰式において発表・表彰しました。

近畿からの受賞者は以下のとおりです。 ・農林水産大臣賞 「豊かな海へ」海底耕耘プロジェクト(兵庫県・明石浦漁業協同組合)

・ 展外小性へ足員 「豆かな海へ」海底耕私ノロンェクト(兵庫県・明石浦漁美協向組合) ・優秀賞(審査委員特別賞) 自然と技術が調和した未来へのフィールド(兵庫県・Awaji Nature Lab & Resort ((株) パソナ農援隊)) ・みどりの食料システム推進賞 健康を創ることは 地球を創ること (滋賀県・株式会社ソーラーアグリ 自然と技術が調和した未来へのフィールド(兵庫県・Awaji Nature Lab &

イノベーションズ)

インペーションへ/ ・みどりの食料システム推進賞 社パソナグループ事業開発部)) ・みどりの食料システム推進賞。 未来に繋ぐオイシイ場所(兵庫県・淡路シェフガーデン事務局(株式会

森・里・湖に育まれる漁業と農業が織りなす琵琶湖システム(滋賀県・ 琵琶湖と共生する滋賀の農林水産業推進協議会)

他の受賞作品ほか、詳しくはこちら(農林水産省ホームページ) https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/b\_kankyo/220214.html

<募集・案内> ◆令和4年度農山漁村振興交付金(地域活性化対策、農泊推進対策、農福連携対策及び都市農業機能発揮 対策)の公募を実施中です

近畿農政局では、農山漁村振興交付金により地域の創意工夫による活動の計画づくりから農業者等を含む地域住民の就業の場の確保、農山漁村における所得の向上や雇用の増大に結びつける取組を総合的に支援 地域住民の机業の場の確保、展出点行における所得の向上や雇用の増大に起びりける取組を総合的に又振 しており、このうちの地域活性化対策、農泊推進対策、農福連携対策及び都市農業機能発揮対策について は、公募により支援地域・団体を決定しています。 今般、令和4年度公募を令和4年2月24日(木)から3月11日(金)まで実施していますので、これ ら対策の活用を検討されている方は提案書をご提出ください。 なお、都市農業機能発揮対策のうち都市農業との対策の活力を持ち、アスラスを、また、日対策の担定書は、農村に 都市農業共生推進等地域支援事業の公募は近日中に行われる予定です。また、同対策の提案書は、農村振興局農村計画課都市農業室までご提出ください。

農山漁村振興交付金について、詳しくはこちらご覧ください。 (近畿農政局ホームページ) http://www.maff.go.jp/kinki/keikaku/nousonshinkou/kyousei/sinkou\_koufukin.html

## 3. フォトレポート

◆近畿農政局管内で頑張る生産者・事業者の方々などをホームページで写真により紹介しています

◇大阪府富田林市 きらめき農業塾 作っているのは野菜ですが、育てているのは「人財」です

https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/osaka/2021photo/11\_kirameki/kirameki.html

◇和歌山県串本町 エコエ房四季

和歌山県内で初の「ノウフクJAS」認証を取得!!

https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/wakayama/photo/img/202202noufukuJAS/ekokobosiki.html

#### 4. きんき食と農デジタルミュージアム

◆伝えたい光景がある~きんき食と農デジタルミュージアム

近畿農政局管内の食と農の魅力を動画で発信するサイトです。

◇近畿の「BUZZMAFF(ばずまふ)」 ◇短殿の「b022min」(はするが)」 職員自らが、農林水産物の良さや農林水産業、農山漁村の魅力を発信するプロジェクトです。 2月16日、京都アグリびと#2「おっさん2人が京野菜を使って料理対決!」を配信しました。 3月には、#3「「京の野菜」花菜を収穫」(仮題)を配信します。 ◇「農」に関する動画 近畿農業に関する最新のニュースや最先端の技術、近畿ならではの農業などを動画でご紹介します。 ◇「風景」に関する動画

近畿ならではの風景を動画で紹介します。

◇「食」に関する動画 米粉を使ったレシピなど「食」に関する動画を紹介します。

きんき食と農デジタルミュージアムはこちら(近畿農政局ホームページ) https://www.maff.go.jp/kinki/video.html

# 5. 統計情報

◆2020年農林業センサスミニ分析の第2回を掲載しました

「2020年農林業センサスミニ分析」は、最新の農林業センサス結果を用いて近畿農業の変化や特徴をグラ フ化し、簡単な解説を加えたものです。

第2回 近畿における有機農業の取組状況として、以下の統計情報を掲載しました。

1.有機農業に取り組んでいる経営体数割合 2.作物別有機農業に取り組んでいる作付(栽培)面積割合 3.有機農業に取り組んでいる作付(栽培)面積割合(市町村別マップ)

詳しくはこちら(近畿農政局ホームページ)

https://www.maff.go.jp/kinki/toukei/toukeikikaku/mini/2020.html

令和2年に発生した農作業死亡事故について公表されました。 死亡者数は前年より減ったものの、65歳以上の高齢者による事故が多数を占めています。 農業労働力に関する統計を見ると、令和2年にふだん仕事として主に自営農業に従事している者の平均年 齢は67.8歳でした。

農業労働力に占める高齢者の割合が高いので、高齢者の事故が多いのかもしれませんが、農作業事故に気を付けて、我々においしい農作物を届けてほしいと願っています。 (※編集後記の文責については筆者にあります。)

☆配信停止、メールアドレス等変更には 御登録いただいたメールアドレスとパスワードが必要です。 パスワードをお忘れの場合はパスワードの再発行をお願いします。 ☆配信中止・配信メールアドレスの変更・バックナンバーの閲覧は、 ⇒ http://www.maff.go.jp/kinki/pr/mmg/index.html ☆近畿アグリレターに関するご意見・ご要望は、 ⇒ https://www.contactus.maff.go.jp/j/kinki/form/1209.html までお願いします。

編集・発行:近畿農政局 企画調整室 〒602-8054 京都府京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町

電話:075-451-9037(直通) FAX:075-414-9060